

市へ質問

灯油値上がりを受け、暖房の節約に努めた
12月議会。

各議員より生活・福祉・教育・文化・財政
など行政運営のあり方について、熱く質問！



西村 孝夫

ソフト事業重点に

【質】 国の三位一体改革の影響から行財政運営のあり方に大きな苦勞を強いられている。今後は、これまでの、ハード重視からソフトへの行政サービスの質的転換が必要と考え、そのひとつとして公共施設の延・長命化のために維持補修の強化策の充実が必要でないか。

【答】 整備計画を立てて臨むのが望ましいが財政の実態から難しい。だが、小中学校と付帯施設の耐震調査費用を来年度予算に計上したい。また、橋梁（きょうりょう）についても早いうちに計画的に調査したい。

山口 賢治

市職員の給与について

市職員の給与改定は、市の財政状況や市内民間の給与ベースと比較検討して、見直しするべきと考えています。そこで各年代別の平均年間収入と、市内給与実態調査について質問しました。

40代は67万円。50代は70万円となり、平均62万円。実態調査は非効率的なので行わないという答弁でした。私の調べによると、平成16年度10人以上の全国全産業の平均年収は42万円。高い給与であるという事を自覚し、市民への奉仕に務めるべきと、申し添えました。

米田 登美子

保育行政と観光の方向性

【質】 保育の充実の為、生後2ヶ月からの保育を実施出来ないか。また看護師の配置の考えはないか

【答】 子の健康、母子関係を築く時期と考え当面実施しない。看護師は国の動向を注視する。

【質】 来年度のサミットや開湯100周年の取り組みについて聞きたい。

【答】 市内にワーキンググループを設置し関係団体と協議を行い、行動計画をまとめ連携・協力する。

開湯記念事業は観光協会を中心に検討中である。決定次第、道内外に発信していく予定である。

渡辺 勉

子ども達に快適な洋式トイレを

子ども達が、安心して生活できる学校環境施設としてトイレがあります。9月議会に続き、便座の洋式化と暖房について質問しました。

【質】 季節によっては、使つのをためらってしまうくらい寒くて冷たいトイレは、子どもたちには、我慢出来ない実態である。工事が無理なら、工夫をして、少しでも使いやすいものにしてはどうか。

【答】 トイレの洋式化は、30%を目指し、暖房化もしていく。財政難の折、全市一斉は無理なので、年次計画を立てて実施する。

高橋 正美

季節労働者に対する 冬季就労対策の拡充を

【質】 技能講習や一時金の廃止により、季節労働者の生活を守ることが課題となっているが、冬期間の除雪を含め何らかの事業見直しによる雇用の創出はできないか。

【答】 市ではこれまでも、通年で公共施設の清掃業務や冬期間の除雪業務により季節労働者の就労の場の確保に努めてきたが、今後も、国及び関係機関と連携を図りながら、季節労働者の雇用と生活の確保に努めていきたい。

木村 俊子

妊産婦健診の公費負担の拡充を

少子化による影響は、子どもや地域社会・地域経済にとつても重大な影響を及ぼします。登別の未来のために、健診の公費負担の拡充をすべきではないかとの質問に対し、新年度予算で拡大の方向で検討するという前向きな答弁がありました。

また、「登別市不法投棄、ポイ捨て、及びペットのふんの放置防止条例」を市民の皆さんにこれまで以上に周知し、7月の洞爺湖サミットには世界中のお客様を美しい登別にお迎えしたいものです。